

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①第19回集まりンピック開催/厚真子ども未来フォーラム
- ②円盤投で全国大会/厚真虎毛保存活動
- ③手話サークルの活動紹介/札幌厚真公演/創価学会より図書寄贈
- ④ノーゲームデー取組結果/屋外施設利用案内/定例教育委員会/育英資金案内
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

第54回 町民体育祭 第19回集まりンピック開催

8月18日(日)、かしわ公園野球場で「第19回集まりンピック」が開催されました。町内15自治会、575名が参加し、新種目を含む13種目が行われました。今年は「北海道警察音楽隊」による演奏や、元メジャーリーガーの「マック鈴木氏」がゲストとして登場するなど、大盛況のうちに幕を下ろしました。自治会対抗種目の成績は下記のとおりです。

★ムカデ大レース★

- ①ルールル B ②本郷団地 ③西町 A

★ダービー★

- ①ルールル ②軽舞 ③高丘

★チャレンジ・ザ・ギネス★

- ①西町 B ②軽舞 ③宇隆

★つないでつないで★

- ①北町 ②上厚真 ③東町

★たまいれ★

- ①上厚真 A、鹿沼(同点) ③西町 B

★混合年代別リレー★

- ①軽舞 ②東町 ③ルールル

こどもの
みらいを
語り合う

厚真子ども未来フォーラム

9月5日(木)、厚真放課後子どもセンターで「厚真子ども未来フォーラム」が開催されました。今年度から、厚真中央小学校の横に新設された厚真放課後子どもセンターの裏に広がる森を、子どもたちがのびのびと遊べるような遊び場にする取り組みが始まっています。この遊び場づくりは、子ども、保護者、地域内外の方々と一緒にすすめていきます。

第1部では、安平町の及川町長と厚真町の宮坂町長をお招きし、「子ども時代の思い出」について対談を行いました。対談の中では、「家の仕事(役割)」を果たすという日々の暮らしの中で、たくさん



のことを経験し学んだ」という話など、貴重なお話を聞くことができました。第2部では、「子どもが育つ環境を考える」というテーマで、熊本県さくらんぼ保育園園長の建川さんやおいわけこども園園長の山城さんが取り組んでいる実践を写真や動画を使って紹介していただきました。今回のフォーラムには、厚真町民だけではなく、札幌、旭川、白老、占冠、苫小牧などから、あわせて70名を超える参加があり、これから「地域全体で子どもを育てる」環境づくりに向けた良いきっかけとなりました。

中島愛梨さん 円盤投で全国大会へ

9月1日（日）、釧路市民競技場において第21回北海道ジュニア陸上競技選手権大会が行われ、女子円盤投（1kg）において、厚真中1年の中島愛梨さんが25m11の自己新記録をマークし、2位に入賞しました。この成績をもって、10月11日～13日に神奈川県等々力競技場で行われる全国大会（第50回ジュニアオリンピック陸上競技大会）への切符を手に入れました。

中島さんは小学5年生から陸上競技をはじめ、町内の陸上少年団「厚真スローイングチーム」に入団し、主に砲丸投に取り組んできました。砲丸投では、回転投法という「国際的に主流の投げ方」を用いており、「同じ投げ方である円盤投に抵抗なく挑戦することができ、今回の結果につながった」と本人は話しています。

中島さんを指導する伴俊行さんは、「円盤投で中学1年生がこれほどの記録を出すのは見たことがない、全国大会で経験を積んで今後につなげてほしい」と語りました。

同競技では、厚真中3年生の木戸すずさんが24m39を投げて3位入賞。木戸さんは女子砲丸投（4kg）でも8m73を投げて4位入賞。また、男子円盤投（1.5kg）では、厚真中3年生の田居優樹君が25m32を記録して5位入賞するなど、厚真中学校の3名の投てき選手が4種目で入賞する大活躍を見せました。



ルール地犬「厚真虎毛」保存に奮闘

ルール在住の門脇和雄さんのお宅には、虎毛の北海道犬が2匹飼育されています。天然記念物でもあるこの犬は、厚真ならではの地犬「厚真虎毛」です。生後8カ月の虎太郎（こたろう）は、6月に行われた白老支部展覧会において、特良一席（優勝）の表彰を受けたほか、熊を威嚇する姿勢などを競う獣猟部門でも1位となるなど優秀な成績をおさめています。5才の虎夏（こなつ）は、精悍な姿とは裏腹に、やさしく人懐っこい性格で多くの人に可愛がられています。

門脇さんによると「昔は（厚真虎毛が）たくさんいたが、今は10匹ほどに減ってしまった」と言います。虎毛は北海道犬の中でも2%程度しかない貴重な種類。大正44年、天皇に献上されるなど、歴史のある厚真虎毛を絶やしてはならないと普及に意欲を燃やします。

町では、厚真虎毛の仔犬購入費用の一部助成や畜犬登録や狂犬病予防注射の費用を補填するなどの助成制度を設けています。門脇さんは「気性が荒いという厚真犬のイメージは誤解で、とても優しい性格」「普及に協力してくれる人を増やしていきたい」と話しました。問合せは下記まで。

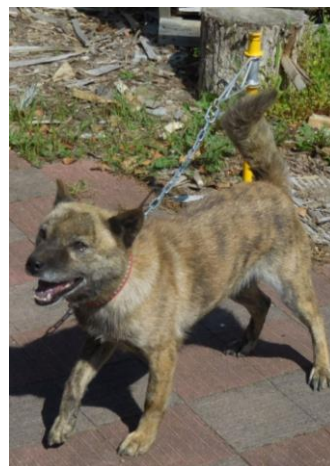
厚真犬保存会 門脇和雄 ☎29-7115
教育員会社会教育グループ ☎27-2495



生後8カ月の虎太郎



受賞したトロフィー



5歳の虎夏



飼い主に忠実な2匹

ろうあ者の手助けに 手話サークル「てのひら」の活動

朝日在住の土居琴恵さんは、町内にある手話サークル「てのひら」の代表を務めています。

土居さんは20年ほど前から手話をはじめ、現在は週1回のサークル活動や、厚真高校と追分高校での出前授業も行い、手話の技術を多くの人に広める活動をしています。



9月17日に行われた追分高校の生活福祉の授業では、50音や数字の指文字から、自己紹介や簡単な挨拶などを実演しながら指導しました。最後には、福山雅治の「トモエ学園」の曲に合わせて手話にチャレンジし、全体の一体感が生まれました。授業を受けた生徒は、「はじめは指の動きを覚えるのに苦労したが、歌に合わせるとスムーズに動いた」と話していました。

「避難所にろう者の方がいて、手話ができた

ことで通じ合えた」「てのひらの活動を町内の方にも知ってもらい、手話に興味をもていただけたらうれしいです」と土居さんは話します。「てのひら」の活動内容は下記のとおりです。



手話サークル「てのひら」

- 在籍人数: 9名
- 活動場所: 福祉センター老人室
- 活動日時: 毎週金曜日 19:00～21:00
- 活動内容: 日常の手話の練習や毎年12月に行われる「チャリティー演芸会」での歌の披露などを行っています。
- 問い合わせ: 090-1649-7682

代表 土居琴恵

札幌厚真公演



9月15日（日）、スポーツセンターにて胆振東部地震復興支援事業「札幌交響楽団厚真公演」が開催されました。指揮者・松本宗利音さん、コンサートマスター・大平まゆみさんを含む、札幌フルメンバーによる壮大な演奏に約300名の観客が聴き入りました。

指揮者あいさつでは、「震災から1年が経ちましたが、苦しんでおられる方々はまだまだ多数いらっしゃると思います」「私たち音楽家にできることは、心をこめて音楽を演奏することです」と語り、追悼曲「G線上のアリア」を含む、全10曲の演奏をしていただきました。



創価学会より図書寄贈

中央小贈呈式



小学校に300冊

創価学会より、被災した3町の児童生徒に対し、「読書を通じて心から元気になってもらいたい」と、各小学校にそれぞれ300冊の図書と専用書架を寄贈いただきました。

創価学会代表からは、「地震があり大変だったと思います。読書で少しでも心が安らげば」と話し、児童は「たくさん本が増えたので、これから本を借りるのが楽しみ！」と笑顔で答えました。

上厚真小贈呈式



ノーゲームデー頑張っています！アウトメディア 取組結果発表

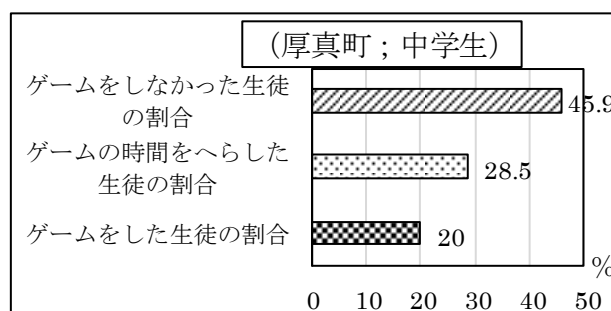
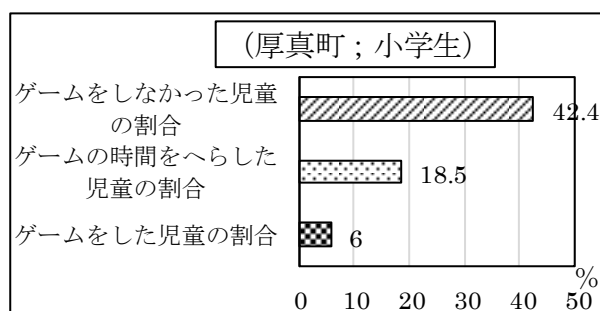
厚真町「アウトメディア運動」の一環として実施している「ノーゲームデー」の取組は今年で4年目を迎えています。今年度4月から8月までの取組率の平均は、小学生が60.9%、中学生が74.4%、こども園園児が9.6%となっています。これからも、毎月第1・第3日曜日に、電子ゲームから離れる（ゲームの時間を減らす）取組を家族みんなで取り組んでいきましょう。

各月のノーゲームデー取組率（取組率＝ゲームをしなかった率＋ゲームの時間を減らした率）

	4月	5月	6月	7月	8月	4月～8月の平均
小学生	62%	61%	66%	63%	54%	60.9%
中学生	70%	74%	80%	76%	72%	74.4%
園児	14%	9%	12%	9%	4%	9.6%

（割合は在籍人数に対する割合です。）

ノーゲームデーの取組の様子（今年度4月から8月の平均）



屋外施設の利用終了について

令和元年度の屋外体育施設の利用終了予定日は次のとおりです。

今年もたくさんのご利用ありがとうございました。

- ◆10月31日（木）まで
かしわ公園野球場
かしわ公園テニスコート
本郷いこいの森パークゴルフ場
- ◆11月15日（金）まで
上厚真パークゴルフ場

8月定例教育委員会

8月29日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- ◆報告事項◆
中学生海外派遣研修/第19回集まりリンピックについてなど（15件）
- ◆議案◆
令和2年度使用学校教科書用図書の採択について（1件）
- ◆協議事項◆
教育委員会の活動状況に関する点検・評価についてなど（2件）
- ★問合せ★
教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

大学・専門学校への進学をご検討の方へ ～厚真町育英資金制度のご紹介～

厚真町に住所がある方の子弟で、大学、大学院、専門学校等に進学された方のうち、一定の選考基準を満たす方に学資金の貸付を行っています。

- ◎貸付月額：6万円以下 ※1万円単位で指定可
- ◎利息：無利子
- ◎貸付方法：ご希望の金融機関の口座に振込
- ◎返済方法：卒業後、借用期間の3倍以内の期間で返済
- ◎申込期限：該当年度5月末日（予定）
- ◎選考内容：本人の健康状態及び学業成績、家庭の経済状況など

◎具体例…

- ★月6万円・4年間貸付を利用(R2.4～R6.3)
⇒総額：288万円借用
⇒返済期間(月2万円返済)：R6.10～R18.9
- ★月5万円・2年間貸付を利用(R2.4～R4.3)
⇒総額：120万円借用
⇒返済期間(月4万円返済)：R6.10～R9.3

◎支給実績…

- 平成31年度…15人に支給(新規2人)
- 平成30年度…20人に支給(新規0人)
- 平成29年度…22人に支給(新規6人)

◎お問合せ：教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

どんな秋を楽しめますか？

スポーツ、読書、行楽、食欲など、〇〇の秋と呼ばれるものはたくさんありますね。私はこの時期旅行に行くことが楽しみです。皆さんの好きな秋はどんな秋でしょうか。

「読書の秋」を広めたのは、夏目漱石の「三四郎」といわれています。小説の中で取り上げた「灯火親しむべし」という詩が秋は読書に最適だという内容の意味で、ここから「読書の秋」が広まったとされています。スポーツの秋は、1964 年に東京オリンピックが開催されたことがきっかけといわれています。旅行先を調べるのも、新しくスポーツを始めたり上達のコツを調べたりするのも読書が一役買ってます。この秋には、読書に親しみながら、あたらしいスポーツにチャレンジしてみたり、旅行先でのご当地の出版社の本を買ってみたりしてみはいかがでしょうか。

9 月 30 日から、青少年センター入口で「旅行の楽しみ」と題して、旅行やちょっとしたお出かけに参考になる本や物、場所などを紹介した展示を行います。この展示には、利用者の方にも参加していただきましたので、青少年センターお立ち寄りの際はぜひご覧ください。



10 月の企画展示：「旅行の楽しみ」

期間：9 月 30 日～10 月 15 日

場所：青少年センター1 階図書室



図書室のマナーを守りましょう

- ・食べながら読むことは控えましょう。食べかすが虫を寄せつけたり、お茶・コーヒーなどの水滴が本にシミとなって残ることがあります。
- ・返却期限を守りましょう。貸出期間は 2 週間です。やむをえず返却期限日に返せない場合はご相談ください。
- ・図書室（青少年センターも厚南会館でも）はゲームをする場所ではありません。他の利用者のご迷惑になりますので、ゲームは家で時間を守って楽しみましょう。

■青少年センター 10 月の休館日
14 日（月） 体育の日
22 日（火） 即位礼正殿の儀

■青少年センター図書室開館時間
午前 9 時から午後 5 時（月・水・金・土・日）
午前 9 時から午後 7 時（火・木）
■厚南会館図書室
午前 9 時から午後 5 時（月～日）
※毎月 5 日・20 日が土日・祝日の場合は休館となります。

10 月のおはなしのびっこは 24 日(木)10 時から 青少年センター絵本コーナーです

☆放課後子ども教室☆

お盆を過ぎれば秋の空と言いますが、今年は9月に入ってもなお暑い日が続きました。暑かったり急に涼しくなったり、大きな気温の変化に風邪をひいたり、熱を出す子もいたようです。季節の変わり目は体調管理にも気をつけたいものですね。

放課後子ども教室8月後半～9月前半のプログラムでは、おやつ作りでフルーツ白玉を作ったり、スポーツや外遊びでの生き物探しをしました。フルーツ白玉作りでは桃やミカン、パイナップルなど果物の缶詰を一口サイズに切ったり、白玉団子を丸めてゆでる作業を子どもたちと一緒に行いました。作業の様子を見ながら、上手な手つきを褒めると「いつもおうちでお手伝いをしているから」という答えが返ってきました。日々の小さな経験の積み重ねが、子どもの成長につながっていくことを改めて感じました。スポーツ活動ではミニバレーにチャレンジ。ボールをはじくことが難しい低学年は、ボールをキャッチして3回以内で相手コートに投げ返すなど、ルールを簡単にアレンジして挑戦です。勝敗が決まる場面になると感情が高ぶる子もいましたが、チームの仲間が励ましたり慰めたりする様子も見られました。高学年になるとレシーブからトス、そして、スパイクまで一連の流れで勝負ができ、見ていても面白い試合が展開されました。子どもたちの額には汗が光り、気持ちよく体を動かす時間となりました。

9月に入ると自然の中の生き物にも変化が出てきます。目の前を悠々と飛び交うトンボ。足元ではコオロギやツユムシ、バッタの仲間がたくさん飛び跳ねています。そんな秋の生き物をめがけ、虫とり網を持った子どもたちが走っていくので、虫たちもさぞ驚いたことでしょう。最初は虫が苦手だと言っていた子も、友だち同士、競うように虫とりを始めると一緒になって熱中していました。たくさんのトンボが収まった虫かごを持ってきて「これは僕がとったトンボ!」と笑顔。青空のもと、今月も子どもたちのにぎやかな声が響きました。

